

北星ドキュメンタリー映像祭

ごあいさつ

北星学園大学は昨年に続き、「第2回北星ドキュメンタリー映像祭」を12月16日、札幌市厚別区の本学記念ホールで開催します。道内で映像制作に励む高校生たちが制作する優れた作品を、地域の大切な記録として残し、道民の共有財産にしていく試みが、今年も引き続き実施できる喜びを事務局一同、かみしめております。これも関係各団体の皆さまのご協力のおかげです。心から感謝申し上げます。

今年は道内各地の高校から計26作品をお寄せいただきました。このうち一次審査を通過した入選作品はドキュメンタリー9本、地域CM9本の計18作品です。12月16日の映像祭では、この入選作品を鑑賞したあと、6人の審査委員による公開審査を行い、グランプリ以下を決定します。

私たちは本映像祭を、映像制作を愛する者同士が楽しく交流できる場にしたいと考えています。今回、作品をお寄せくださった高校の皆さんはもちろん、お寄せいただけなかった皆さんにもぜひご来場いただき、映像の世界の楽しさ、奥深さを一緒に楽しめたら、と考えております。皆さんにお会いする日を楽しみにしています。

「第2回北星ドキュメンタリー映像祭」事務局
代表：阪井宏(文学部教授)

当日スケジュール

- 午前9時
 - 受付開始(C館1階エントランス)
- 午前9時30分
 - 開会式(C館記念ホール)
 - ・学長挨拶
 - ・作品上映(入選校紹介・あいさつ)
 - ・審査委員登壇、紹介・あいさつ
- 正午
 - 昼食・懇親会<招待者対象>(センター棟カフェテラス)
- 午後1時
 - 審査(ドキュメンタリー部門)
- 午後2時
 - 審査(地域CM部門)
- 午後3時
 - 休憩(審査委員は別室で審議)
- 午後3時15分
 - 選外作品ダイジェスト/大学生作品上映
- 午後3時30分
 - 結果発表
 - ・審査委員代表が審議経過を説明
 - ・表彰状、副賞授与
 - ・受賞校あいさつ
 - ・審査委員代表あいさつ
 - ・実行委あいさつ
- 午後4時30分 終了予定

最終審査委員



HTB
「水曜どうでしょう」
チーフディレクター
藤村忠寿



カンヌ映画祭ノミネート作品
「溶ける」監督 伊達市出身
井樫彩



東京ヒアオフエスティバル
代表理事、映像作家
小林はくどう



北星学園大学文学部
心理・応用コミュニケーション学科
教授
大島寿美子



電通北海道、
クリエイティブディレクター
増田光記



北海道映像関連連事業社協会
理事
小野垣親士

主催 北星学園大学
後援 総務省北海道総合通信局、北海道映像関連連事業社協会、北海道新聞社、朝日新聞北海道支社、読売新聞北海道支社、毎日新聞北海道支社、HTB、STV、HBC、UHB、TVH

【北星ドキュメンタリー映像祭事務局】 〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号
北星学園大学文学部 心理・応用コミュニケーション学科、阪井研究室
Tel / 011-891-2731 Fax / 011-896-7660 Email / info@hokusei-dff.com

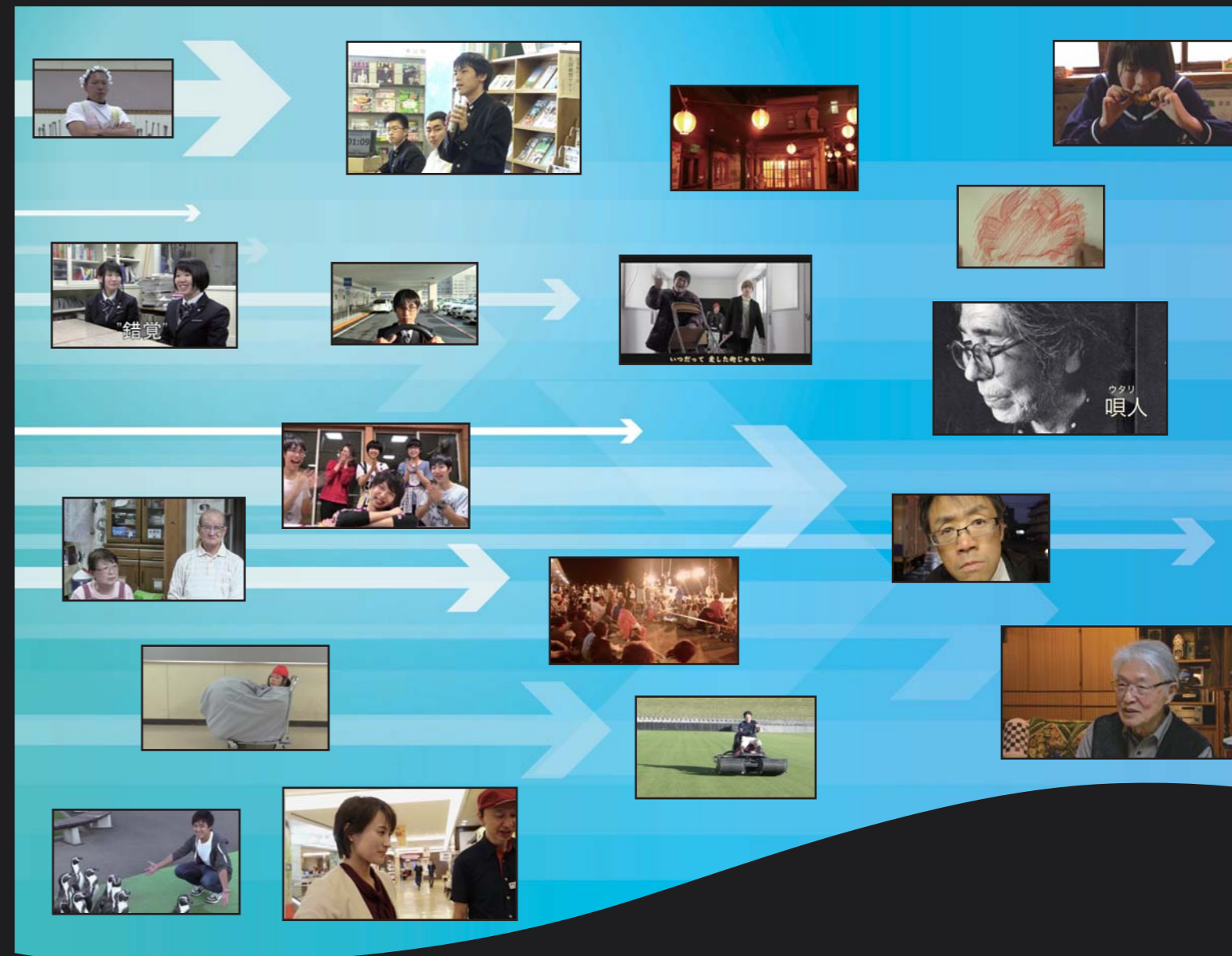
<http://hokusei-dff.com>

Hokusei
Documentary Film Festival
2017

最終審査会・表彰式

12/16土

入選 ドキュメンタリー部門...9作品 地域CM部門...9作品



第2回

北星ドキュメンタリー映像祭

会場 / 北星学園大学 C館記念ホール (札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号)

第2回 北星ドキュメンタリー映像祭

一部の作品は2018年1月以降、北星ドキュメンタリー映像祭HP内の「映像の図書館」ページでご覧いただけます

※順不同。作品の番号は当日の上映順とは異なる場合がございます

【ドキュメンタリー部門】 入選作品…9作品



1. 旭川工業高校 「満州避難日記～309日間の逃避行～」

代表: 中村怜奈 19分59秒

当時、満州で生活していた開拓団の人々。その後、終戦間際にソビエト軍が侵攻してくるとの情報から、避難を始めます。しかし、それからの生活は苦しく、過酷なものでした。その後、多くの苦難を乗り越え、犠牲者を出しながらも、故郷である日本の地にたどり着きます。



2. 函館西高校 「魂の5分間」

代表: 阿部空知 7分55秒

函館西高校図書館に所属する目谷晴斗。彼は昨年の全国高校ビブリオバトル北海道大会で優勝した経歴を持つ。全国的に知名度が高くないビブリオバトルをもっと知ってもらおうと活動する彼の姿を追った。



3. 札幌国際情報高校 「思い出フォト」

代表: 横田泰尚 7分46秒

女子高校生の盛った写真と変顔について、女子高生がアプリやカメラアプリで自分を可愛く見せようとする反面、変顔の写真撮るのはなぜか、女子高校生の心理が気になり、この番組を制作しました。



4. 伊達高校 「^{うたり}唄人」

代表: 阿部零華 5分00秒

アイヌ民族の向井八重子さんの歌を聴いてあなたはどう思いましたか？八重子さんの77年の生涯を知ることができる番組です。



5. 伊達高校 「^{はるか}学び 伝える その一歩」

代表: 宮崎美夏 7分30秒

私の住む町にはイタンキ浜がある。今は鳴り砂として有名だが、そこには暗い歴史があった。中国人強制連行によって連れてこられ、強制労働によって亡くなった多くの中国人の遺体が発掘された歴史。その歴史を調べ続ける上野志郎さんと出会い、被害者である趙さんの言葉をビデオで聞いた私たちは、上野さんご夫妻から平和について学びました。



6. 札幌新川高校 「51年目の挑戦」

代表: 小倉菜々恵 4分50秒

今年で創業50周年を迎える札幌のお好み焼き屋、風月。札幌で人気の風月で後継者として働き、社長 二神敏郎さんの娘である、二神ひかりさんと私たちは出会った。



7. 札幌平岸高校 「ww芝王ww」

代表: 秦しづく 4分58秒

コンサドーレの試合の最中、一人の男の姿があった。札幌ドーム職員の木下淳二さん。サッカー場の芝を中心とした施設内の芝の管理・維持を行うグリーン

キーパーである。札幌ドーム広報の藤田さんに、木下さんの仕事ぶり、人となりを聞いた。ホバリングステージというシステムで、野球場とサッカー場を入れ替える、特殊な環境で使用される芝を育てる木下さんは、「世界一」だと、藤田さんは語る。木下さんは、ドームの周囲の芝も整備している。ドームで散歩などを楽しむ人も多いが、その人たちにも、木下さんが整備した芝は好評である。



8. 北星余市高校 「ANSER～愛した町じゃない～」

代表: 町田哲平 4分04秒

卒業の時を迎え、北星余市に3年間通い感じた「いま」の想いを映像と共に紡ぎました。



9. 小樽潮陵高校 「天と町が繋がる日」

代表: 根本光 4分59秒

小樽市の港町。毎年お盆に聞かれる花火大会は、地域の人々のボランティアで成り立っており、高島町民のチームワークが感じられました。また、長く続く「追悼コーナー」は、高島花火ならではのコーナーであり、地域の繋がりが強く伝わるイベントです。

【地域CM部門】 入選作品…9作品

1. 旭川工業高校 「新子焼きCM」

代表: 村山裕篤 30秒



戦後の旭川で生まれ、今も受け継がれ、庶民のごちそうとして知られる、鶏の半身焼きである”新子焼き”をアピールしようと考え、制作しました。

2. 札幌平岸高校 「日本教育書道芸術院CM」

代表: 佐藤侑 30秒



ただ真面目に書に打ち込むのと、楽しく書と向き合った時の違いをCMらしく分かりやすく伝えられるような作品にしました。

3. 札幌平岸高校 「桑園自動車学校CM」

代表: 米川大樹 30秒



シュールで見ていて面白いだろうと思い制作しました。最後のオチがポイントです。

4. 伊達高校 「嫉妬心」

代表: 本木瑛美 30秒



小さい頃に行っていた水族館も、高校生になって行かなくなってしまいう人も多いと思います。子供達だけでなく、多くの高校生や大人の人達にも市立室蘭水族館にしかない良さを知ってもらい、様々な生き物と触れ合い、見て楽しんで癒されてほしいと制作しました。

5. 伊達高校 「^{もも}秘密の妖精」

代表: 大西萌 30秒



私の地元である壮瞥町は、りんごが有名です。もっと多くの人に壮瞥町のりんごを知ってもらうため、このCMを制作しました。視聴ポイントは妖精です。

6. 北見緑陵高校 「北見のカーリング」

代表: 佐々木梢枝 28秒



北見を宣伝するCMを検討する中で、オリンピック選手を多数輩出しており、冬季オリンピックも迫る「北見のカーリング」を取り上げることにしました。端的にわかりやすく「北見のカーリング」を伝えるために、メッセージは短く、画はバカなことを真面目にやろうと考え、制作しました。学校の廊下で撮影した「カーリング風」の映像と、カーリングのストーン役に扮した生徒の表情を楽しんでください。

7. 網走南ヶ丘高校 「海産物の街 あばしり」

代表: 上野ひかり 30秒



スーパーを使わずに、アナログ的な手作りの良さ、楽しさが伝わるようにしました。カットを切れ目なくつなげて、流れを大切にしています。少しびっくりしながら最後まで見てもらえると、うれしいです。

8. 札幌新川高校 「駄菓子屋まるいち～すべての子供経験者に～」

代表: 吉井史夏 30秒



駄菓子屋「まるいち」が昭和の雰囲気を感じてくれていることを「タイムスリップ」という形で表現した。「すべての子供経験者に懐かしいあの時を思い出させてくれる「まるいち」を紹介したくて制作した。

9. 小樽潮陵高校 「小樽の光」

代表: 伊藤莉胡 29秒



北海道三大夜景。夜景と聞くと「函館」と答えてしまう人も多いが、こんなにも身近に「光」を楽しめる場所がある。それを見てもらいたくて、この映像を制作した。